

随意契約巡り ルール公表へ

県の新型コロナウィルス
対策事業の多くが随意契約

で委託されたことを巡り、
県は14日の県議会予算委員
会で、契約関係の内部ルー
ルを公表する考えを示し
た。河鍋章会計管理者兼会
計局長は「ルールの公表に
より、県民に理解をいただ
けるよう努めたい」と述べ
た。自民党の市川和広氏の
質問への答弁。

約は競争性や透明性を確保
するため競争入札が原則だ
が、一定の要件に該当する
場合は随意契約を結ぶこと
が認められている。
随意契約が多くなってい
る理由について河鍋局長は
「コロナ禍では事業の特殊
性から相手方が特定してお
り競争入札に適さない場合
や、感染状況などから緊急

の必要により競争入札がで
きない場合が多い」と説明。
ただ、随意契約でも複数社
に見積もり書の提出を依頼
しないケースは「本来取る
べきルールによらず、安易
に随意契約をしているので
はないかといった疑念を抱
かせ、県への信頼が失われ
ることになりかねない」と
述べた。(川口 肇)

コロナ事業で随契多発の県 契約ルール公表へ

県の新型コロナウィルス対策事業の発注を巡り、本来入札にかけるべき高額案件でも随意契約（随契）が多い問題で、県は十四日の県議会予算委員会で、入札や随契に関するルールを県のホームページ（HP）に掲載するなど、県民への説明に努める方針を明らかにした。河鍋章会計局長は「今まで県内部にしか示していなかった契約のルールを周知したい」と答弁した。

(志村 彰太)

委員は、随契や、複数の
見積もりを取らない「一者
随契」が多いと、行政の契
約行為の原則である「透明
性」「公正性」などを守れ
ていないと疑われ、「県民
からの信頼が失われかね
ない」と問題提起。随契が
許される場合などを示し
た指針の公表を県に求め
た。

県当局は、新型コロナ関
連事業で随契が多い理由を
「専門性の高い事業などは

必ずしも競争に適さない」
「感染状況に合わせて緊急
的に必要となる場合が多
い」などと説明。その上
で、河鍋局長は「県民から
見ると、随契を安易に使っ
ていると思われかねない」
と応じた。年度内のルール
公開を目指す、具体的な
内容は未定という。

ウクライナ情勢 「県税減収要因」 補填債発行も示唆

黒岩祐治知事は14日の県
議会予算委員会で、ウクラ
イナ情勢の緊迫化による経
済への悪影響が「県税収入
のマイナス要因になる」と
述べ、今後の動向次第で減
収補填債の発行や財政調整
基金の取り崩しを検討する
考えを示した。

県が提案している202
2年度当初予算案では、海
外経済の好調持続などを前
提に、法人2税が前年度比
18.6%増、個人県民税は同

5.2%増を見込んでいる。
ただ、2月下旬に始まっ
たロシアのウクライナへの
軍事侵攻の影響は織り込ま
れておらず、知事は「当初
予算案の提案時点から状況
は大きく変わった」と言及。
顕在化している原油や穀物
価格などの高騰が、法人2
税や個人県民税の減収要因
となる生産コスト増、物価
上昇、株価下落を招きかね
ないとして「新型コロナウ
イルス禍を含め、情勢は予
断を許さない。動向を注視
する」と述べた。自民党の
市川和広氏への答弁。
(大槻 和久)